

景況動向指数 (Diffusion Index)

(2021年4月~6月)



経営発達支援事業資料

長浜市商工会

調 査 対 象 事 業 所

長浜市商工会 管内100事業所

製 造 業 (2 0 事 業 所)

建 設 業 (2 0 事 業 所)

卸 小 売 業 (2 0 事 業 所)

飲 食 宿 泊 業 (2 0 事 業 所)

サ ー ビ ス 業 (2 0 事 業 所)

* 調査期間 2021年4月～6月

この資料は、経営発達支援事業の地域の動向調査に関することの目的で実施した資料です。

* D I とは？

本報告書の中で%以外に用いているD I 指数とは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略です。

各調査項目について増加（上昇、好転、長期化）企業割合から減少（低下、悪化、短期化）企業割合を差し引いた値を示します。

D I が+（プラス）なら強気（楽観）、-（マイナス）なら弱気（悲観）を表します。

例えば売上高で増加企業 50%、不変企業 30%、減少企業 20%の場合、

D I 指数・・・ $50\% - 20\% = 30$ となり、全体として経営者の売上に対する強気の度合いを表しています。

製造業（2021年4月～6月）DI 値抜粋

コメント

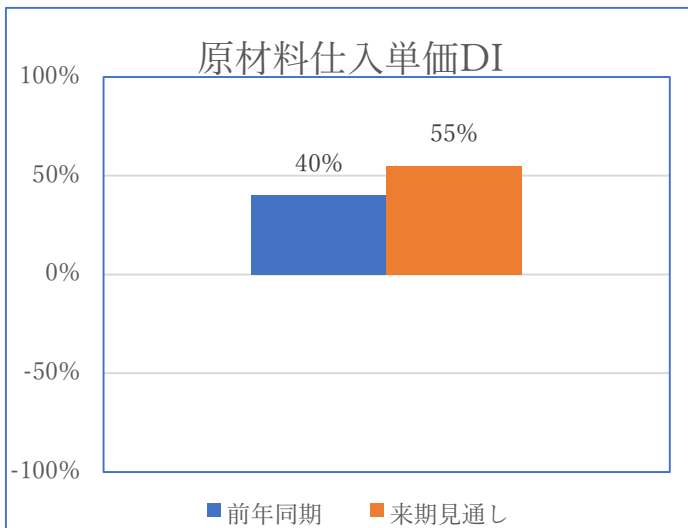
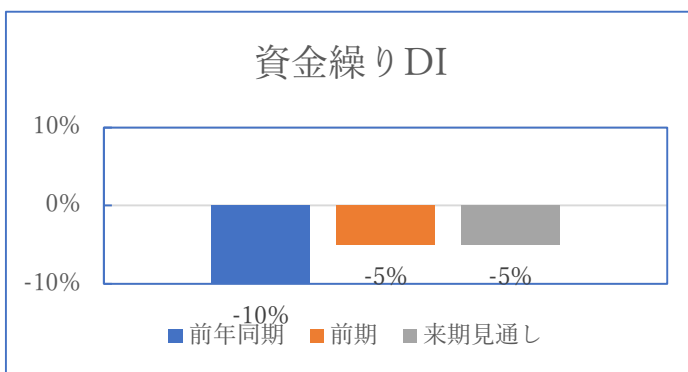
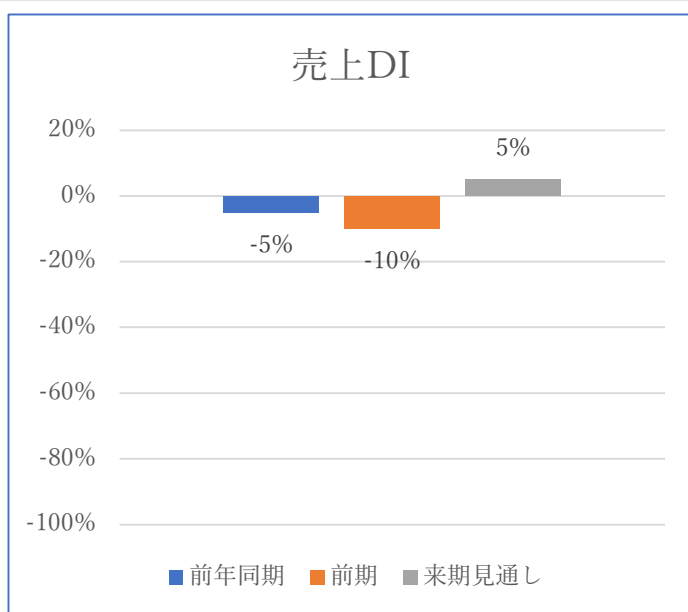
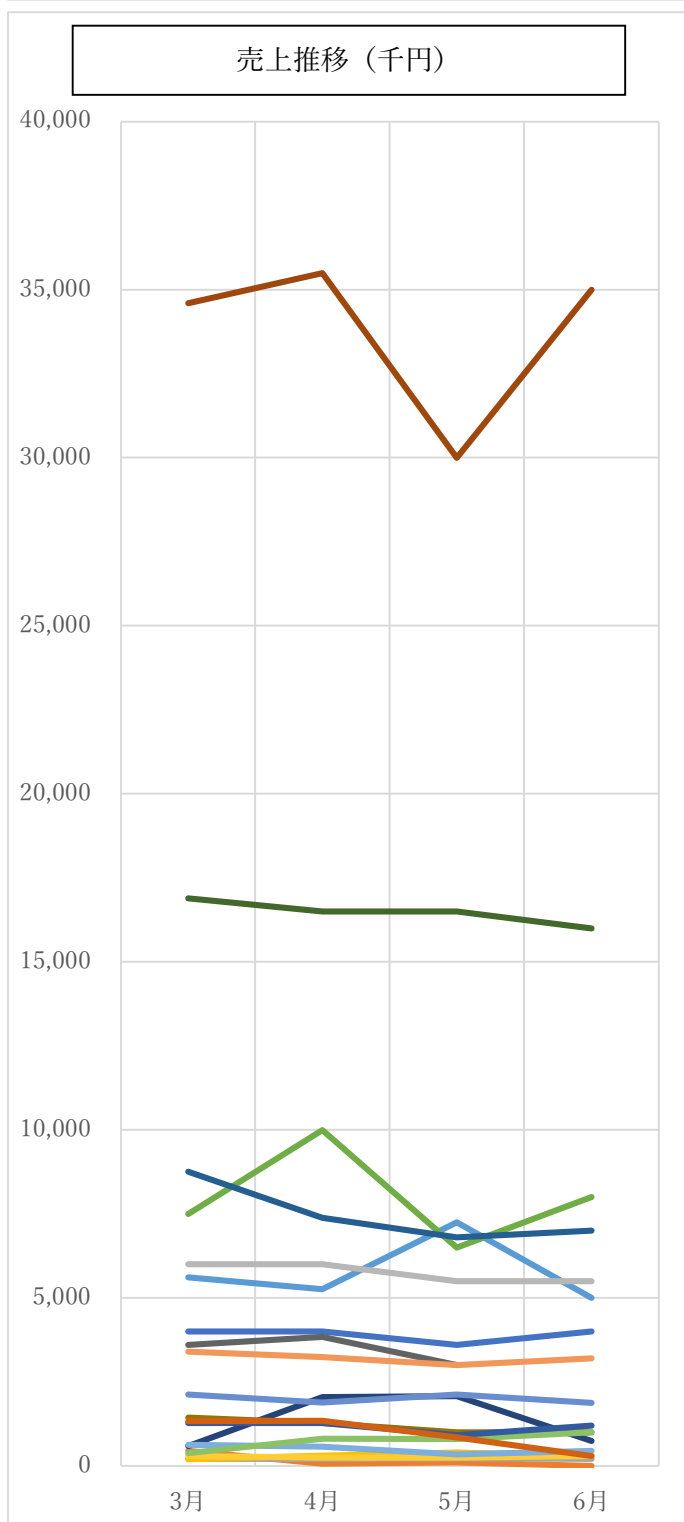
製造業の業績判断にかかるDIは、改善の動きがある一方、仕入原価の上昇の影響による収益低下が懸念される状況である。

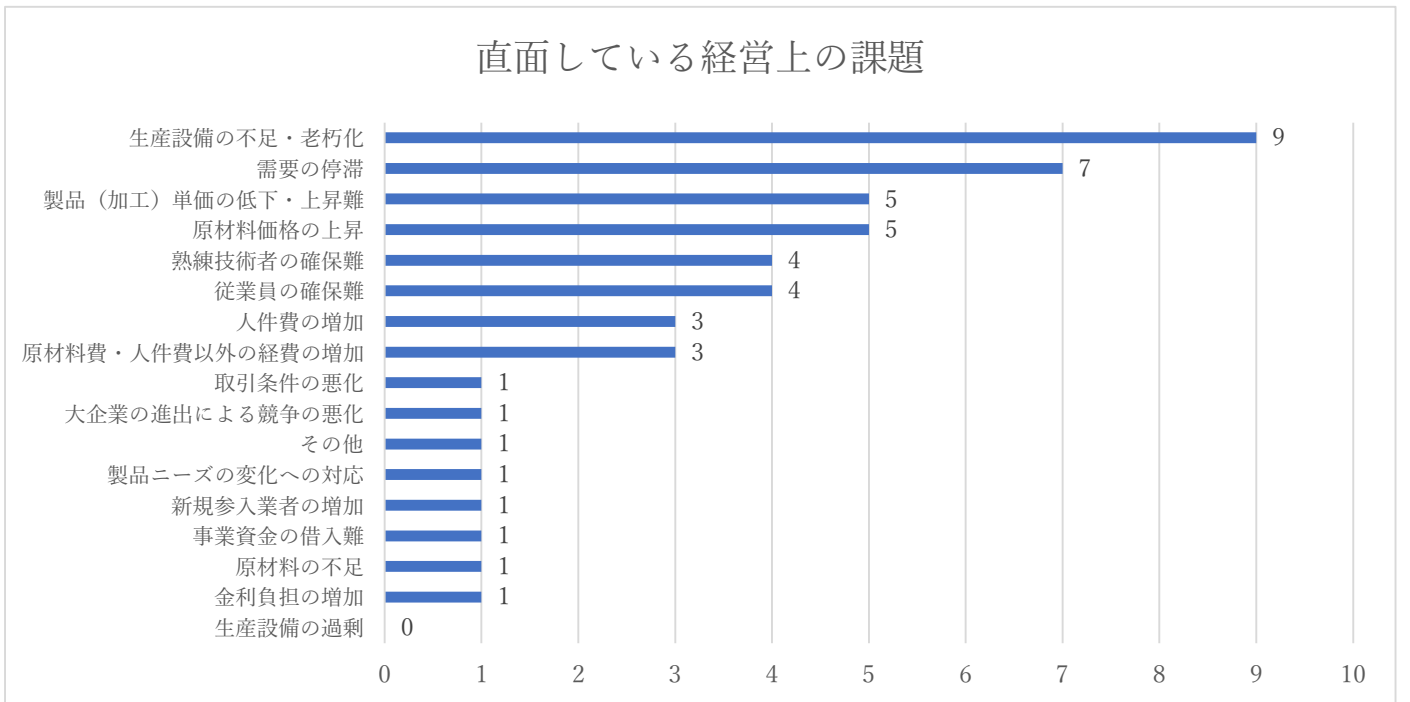
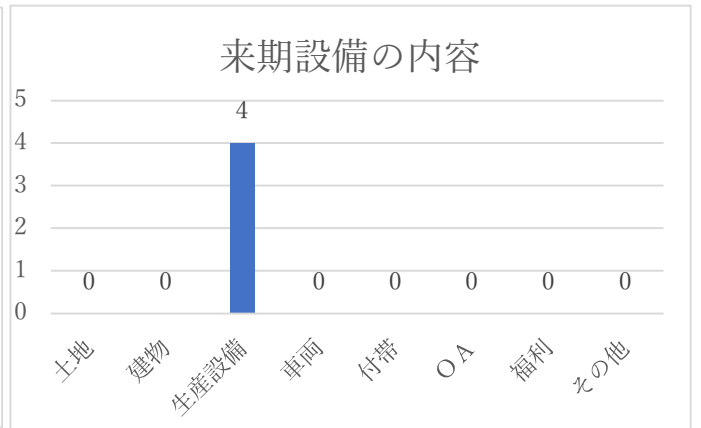
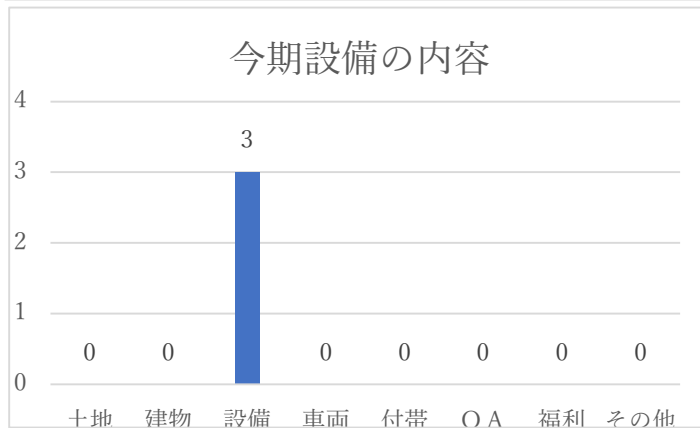
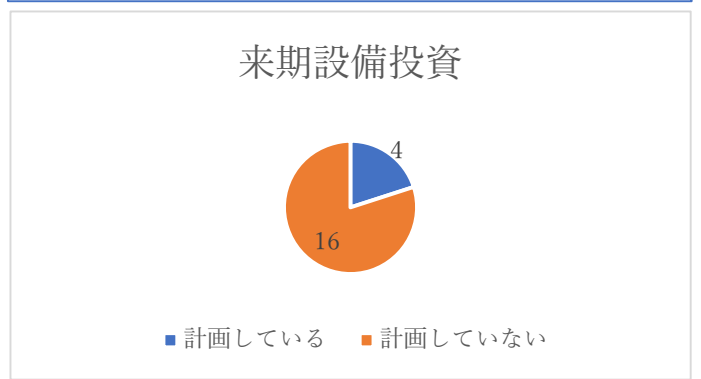
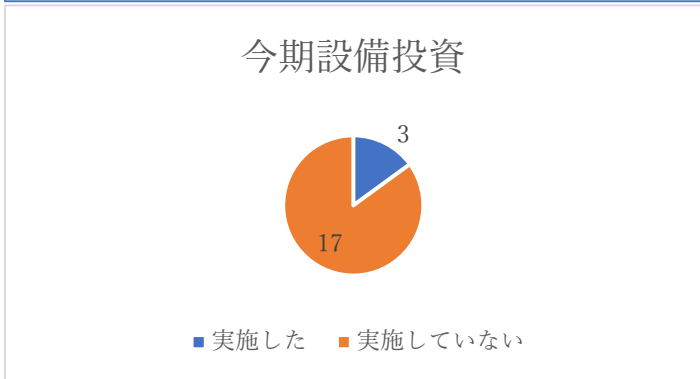
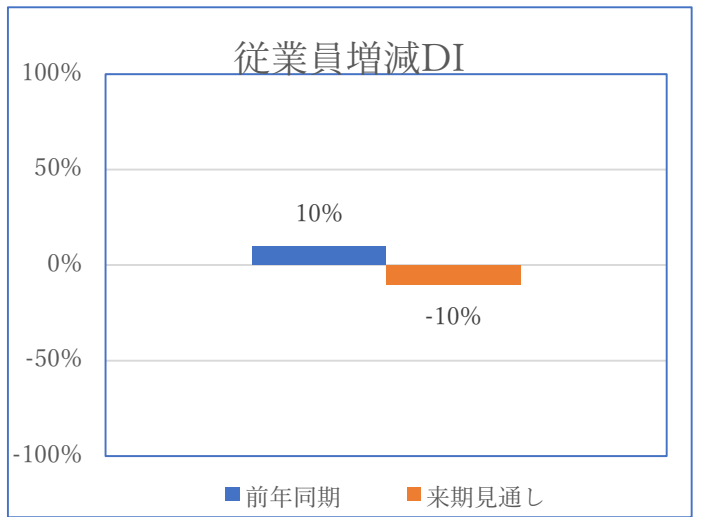
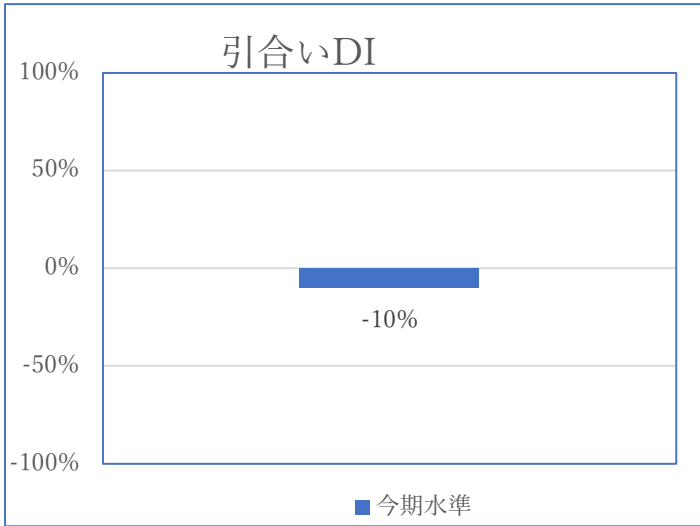
売上DIは前年同期比▲5、前期比▲10と第一波の緊急事態宣言下と著変なく、来期見通しについては+5と改善の兆しがある。

資金繰りDIについても、前年同期比▲10、前期比は▲5と下げ止まりの傾向が見受けられる。先行きの見通しも▲5と拮抗した状況が続く。原材料仕入単価DIが急上昇しており、前年同期+40、来期見通し+55と原価上昇を上げる企業が多い。引合いDIについては、今期水準▲10と若干弱含みである。

従業員増減DIは、前年同期+10、来期見通し▲10と拮抗した状況が続いている。

設備投資について、低迷傾向が続いているが、今期、来期とも生産設備に関する投資を行う企業がある。個別の声として、木材不足で仕入れが難しく値上がり幅が以上で価格に反映でないというウッドショックに関する事、コロナの影響による業務停止、巣ごもり消費、輸入ストップによる国内製造のニーズ、外出自粛による飲食店への食材卸売減少などの声があり、コロナ禍の影響が色濃い。





建設業（2021年4月～6月）DI 値抜粋

コメント

建設業の業況はコロナ第一波の緊急事態宣言が発出されていた1年前よりは、改善が見受けられるが足元ではウッドショックによる影響が深刻となっている。

完成工事高DIは前年同期+5、前期+10と改善がみられるが、今後の見通しは▲25と過半数を超える事業者が減少となっている。

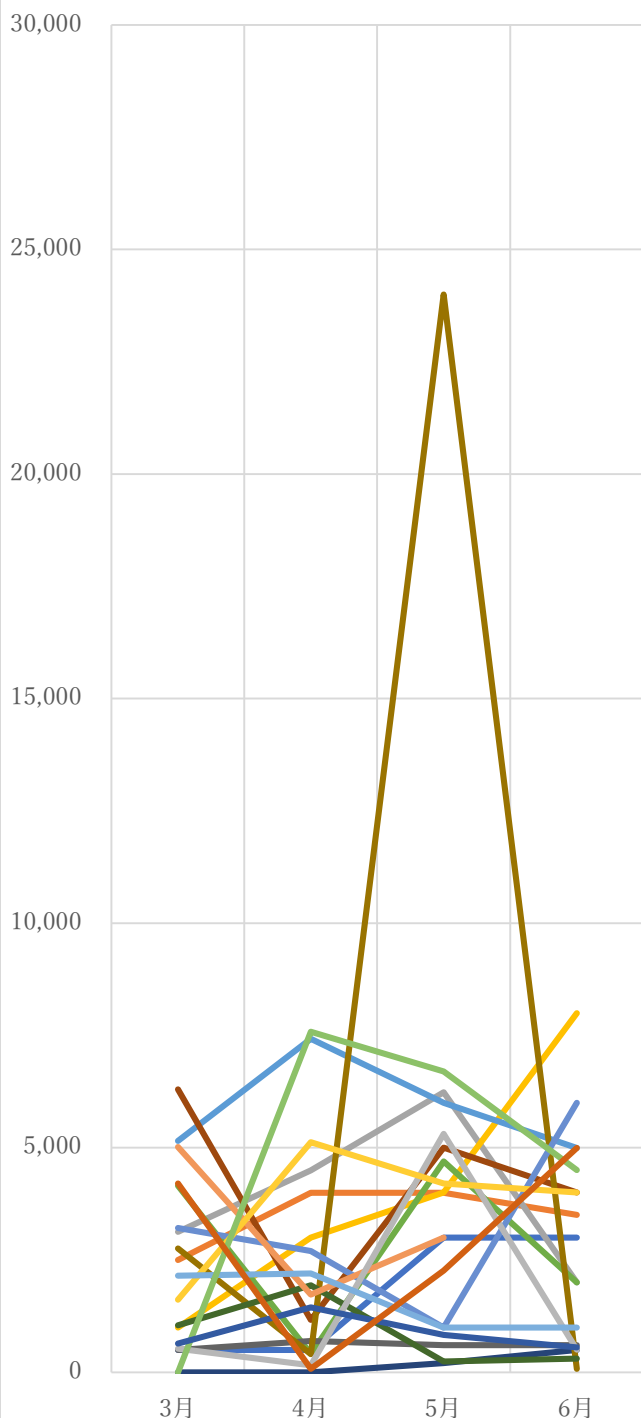
材料仕入れ単価DIに顕著であり、前年同期、来期見通しとも+45と木材仕入価格の値段上昇を上げる企業が過半数である。個別企業の声では、世界的なウッドショックにより今まで当たり前にあった木材が入手出来なくなり、入手できても以前の単価より上昇しており不安との声がある。

資金繰りDIについては前期と著変なく足元今後の見通しともマイナスの推移であり、資金繰り不安を抱える企業が引き続き多い状況である。

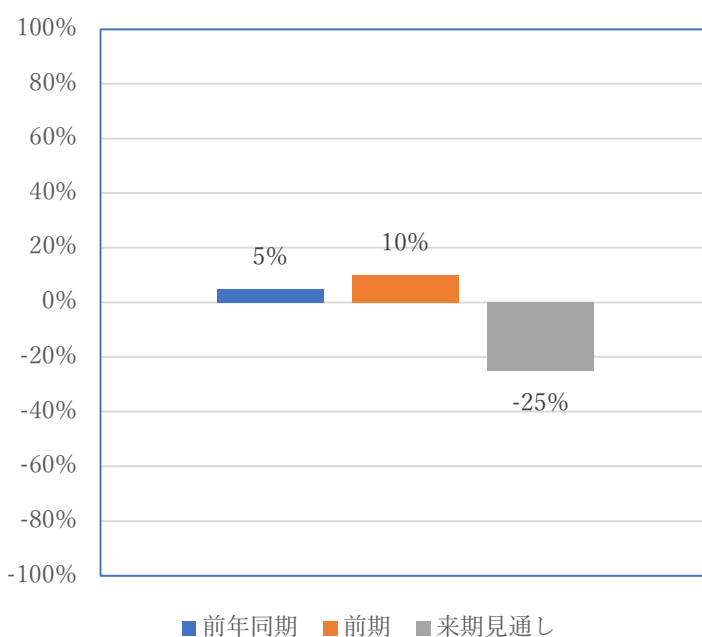
設備投資について、今期に実施した企業は少なく、来期の予定企業も低調である。

経営課題としては、材料価格上昇を上げる企業が前回調査の6社から11社に急増している。材料の入手難も1社から9社に急増しており、ウッドショックの影響を上げる企業が多い。

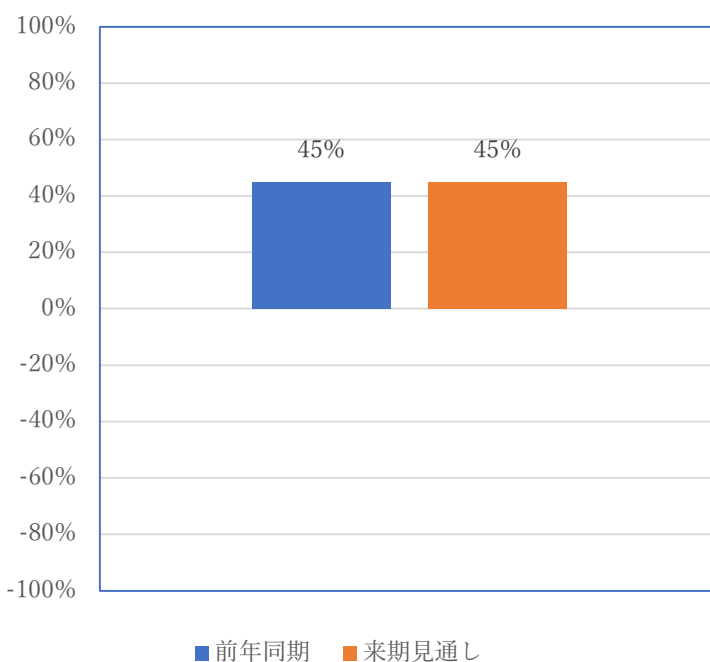
売上推移（千円）



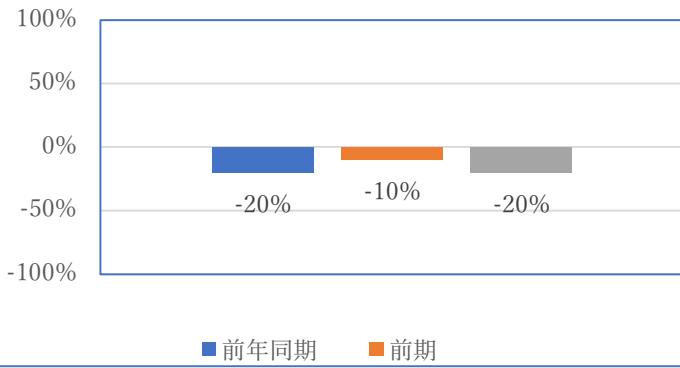
完成工事DI



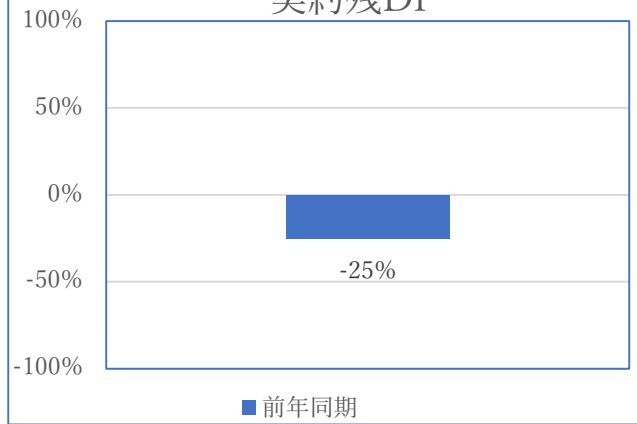
材料仕入れ単価DI



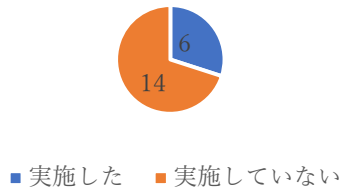
資金繰りDI



契約残DI



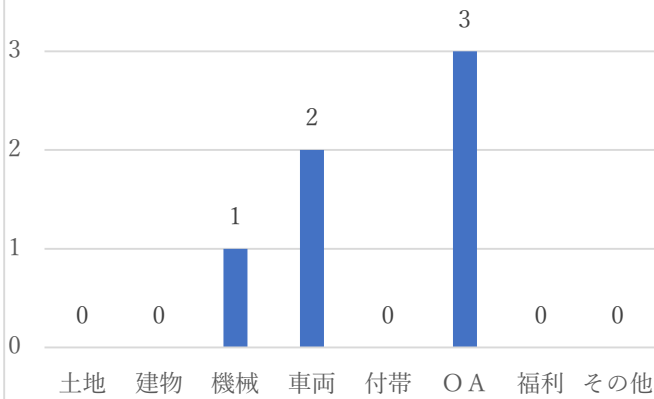
今期設備投資



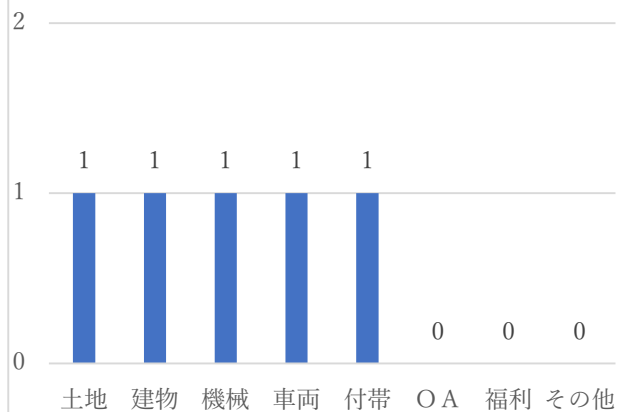
来期設備投資



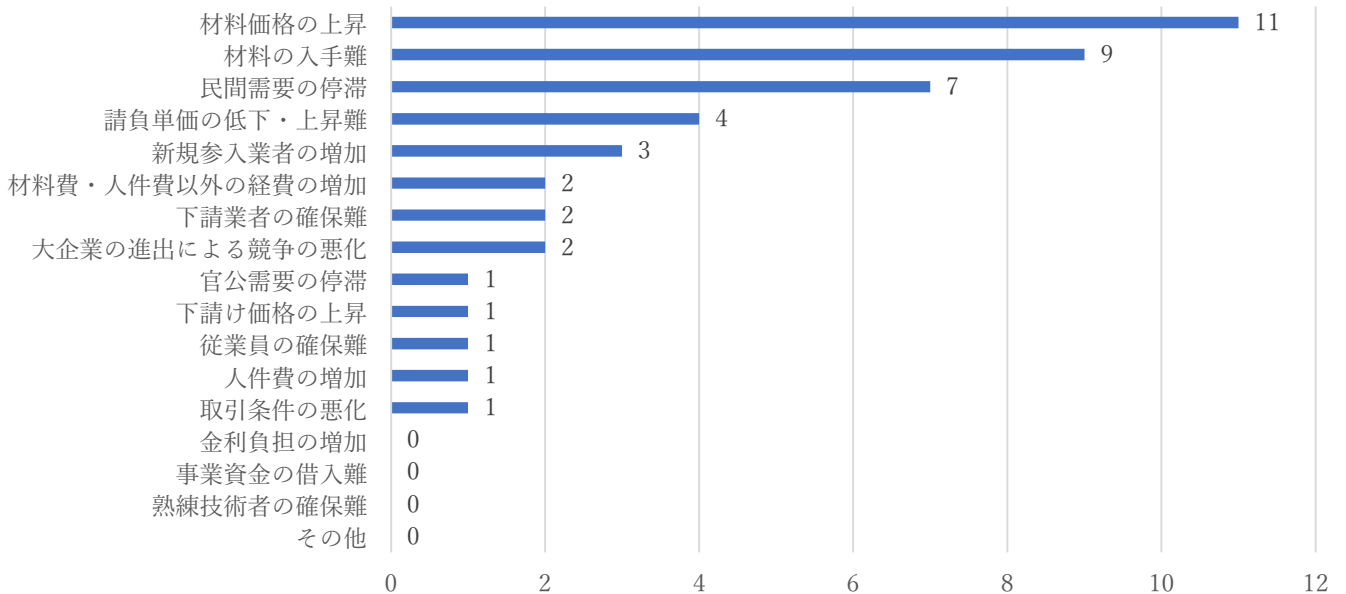
今期設備の内容



来期設備の内容



直面している経営上の課題



卸小売業（2021年4月～6月）DI 値抜粋

コメント

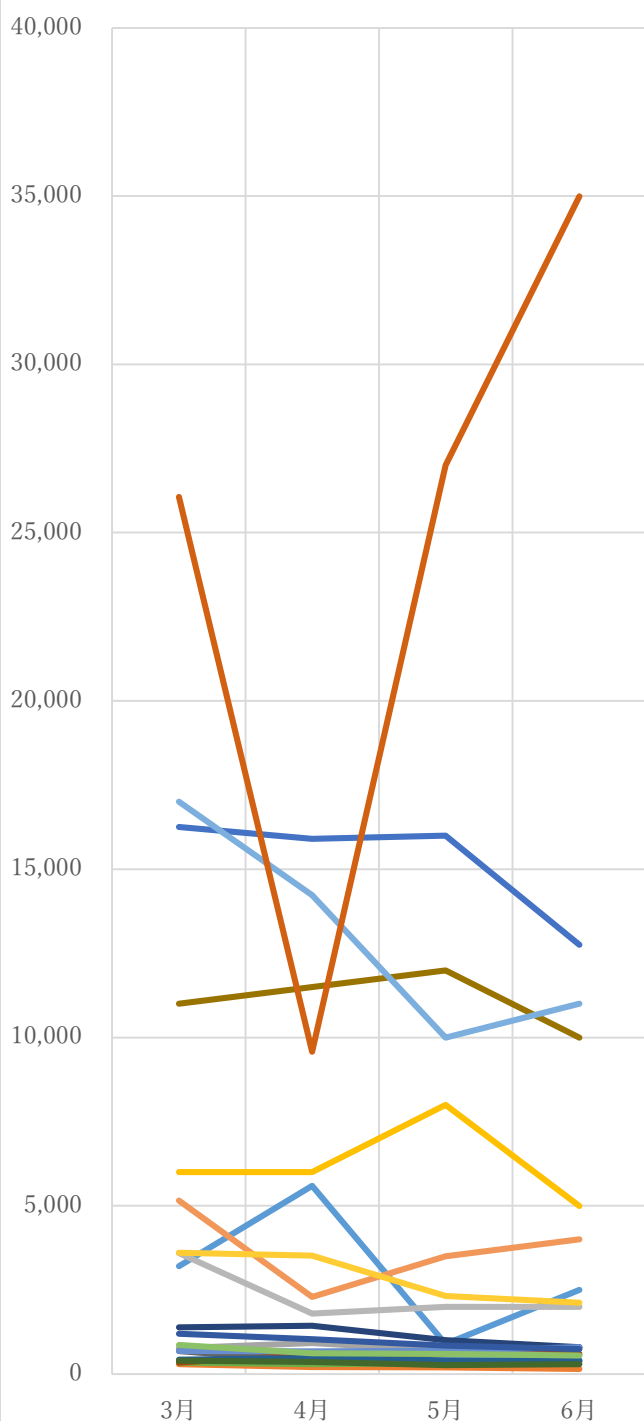
卸小売業の業況に関するDIは、第三波、第四波の影響が続き、低迷した状況であり、先行きも明るい声が乏しい状況である。

売上DIは前年同期▲20と第一波の時期よりも減少している声が多い。前期からも▲50と年明けから春先にかけて国内で緊急事態宣言が発出された影響より売上減少に歯止めがかからず。今後の見通しも▲25と厳しい現状である。

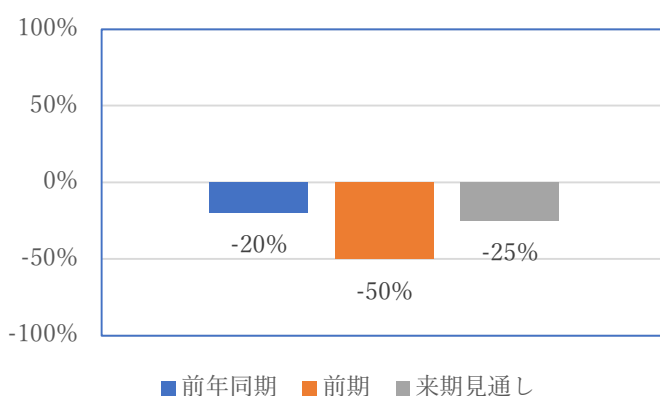
資金繰りDIについても前期比▲25、前期▲25と現況についての厳しい状況が続き、来期も▲15と過半の企業は資金繰り不安を抱えている。採算DIも前年同期▲45、来期見通しも▲15と採算面は厳しい状況が続いている。商品仕入単価DIが上昇している、前年同期+35、来期+30と収益圧迫の懸念がある。借入金について、借入DIは融資が一巡しているところで、長短期とも若干のマイナス傾向で追加借入への懸念がみられる。

個別の声として、コロナの影響により大阪からの仕入れ納期が延びており売上減少に繋がっている。冠婚葬祭がなくなり売上が減少しているとの声がある一方、内食が増えることがビジネスチャンスになるというコンビニエンスストアの声もあった。

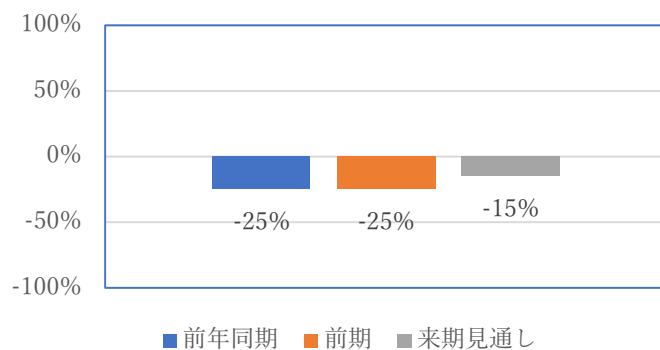
売上推移（千円）



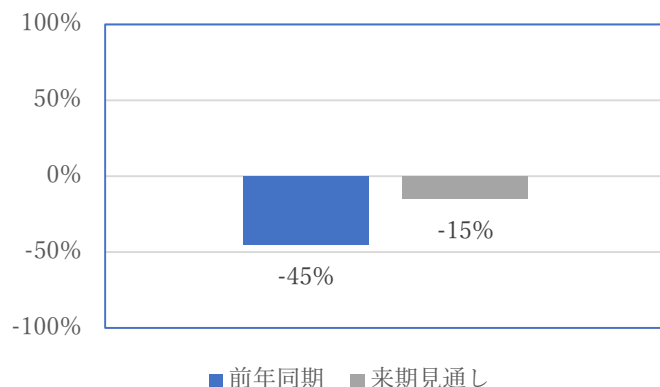
売上DI

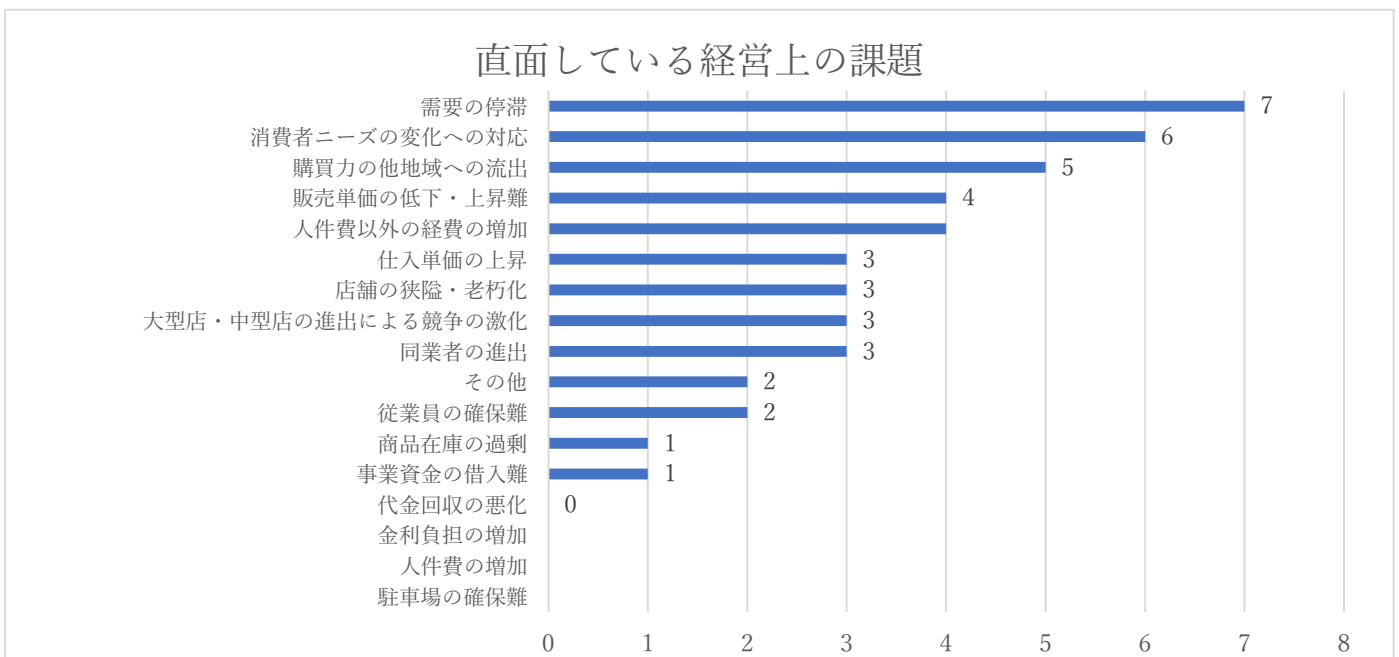
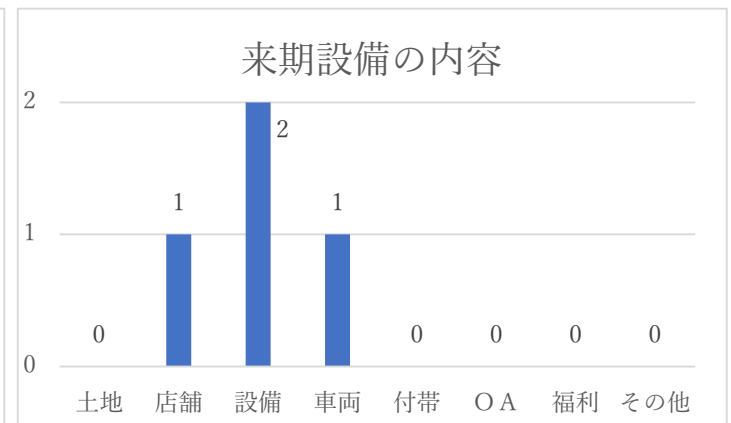
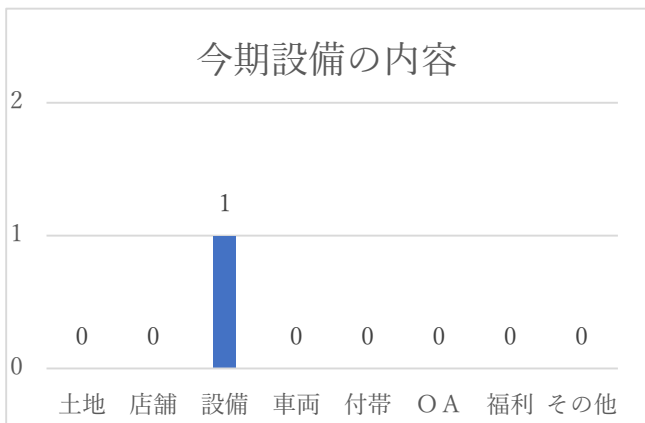
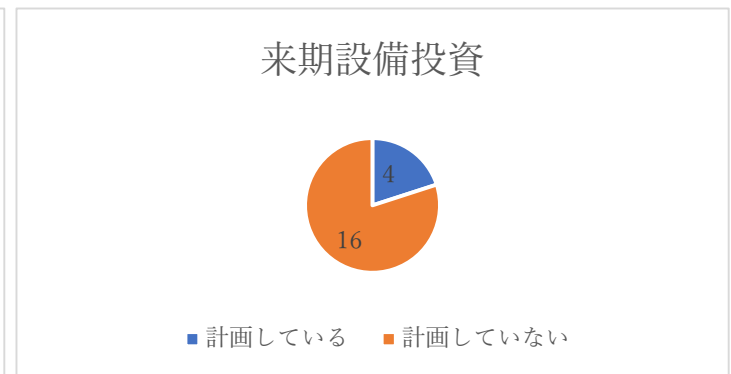
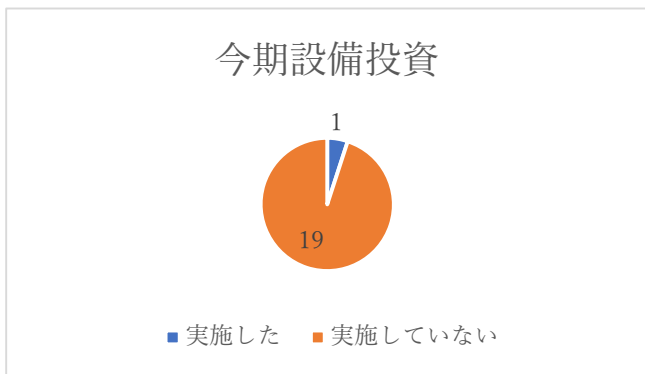
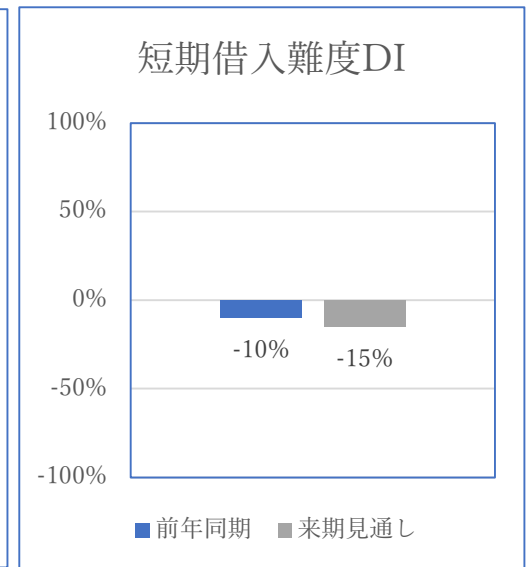
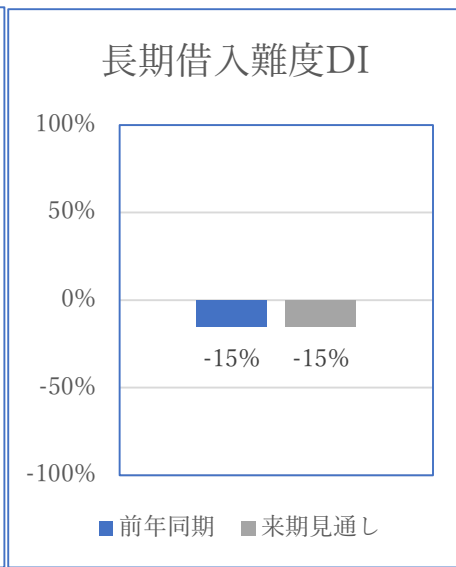
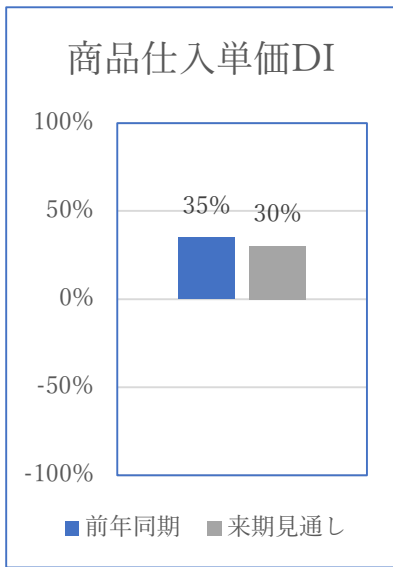


資金繰りDI



採算（経常利益）DI





飲食宿泊業（2021年4月～6月）DI値抜粋

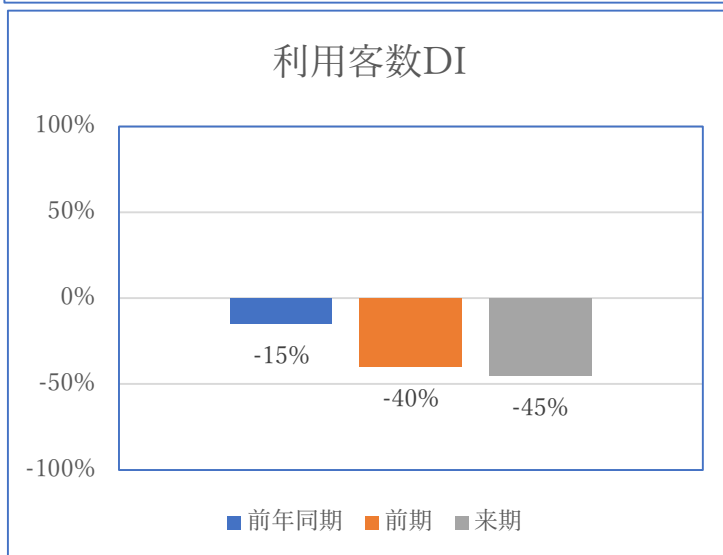
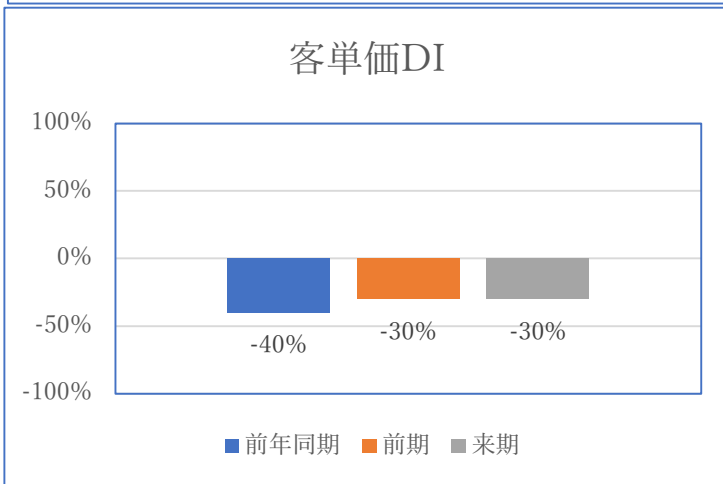
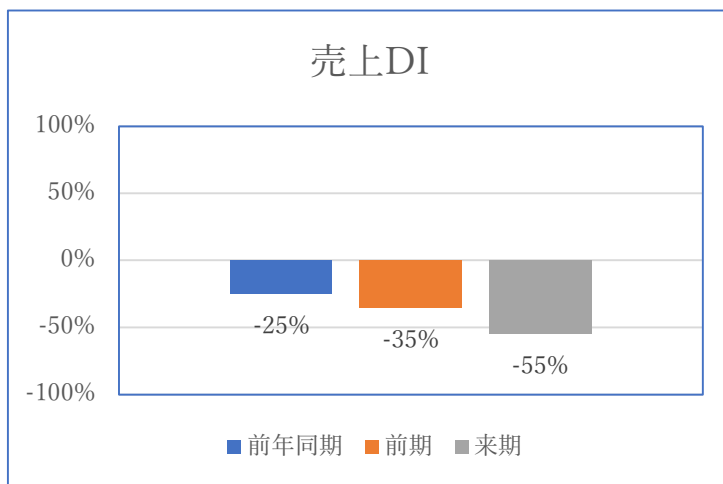
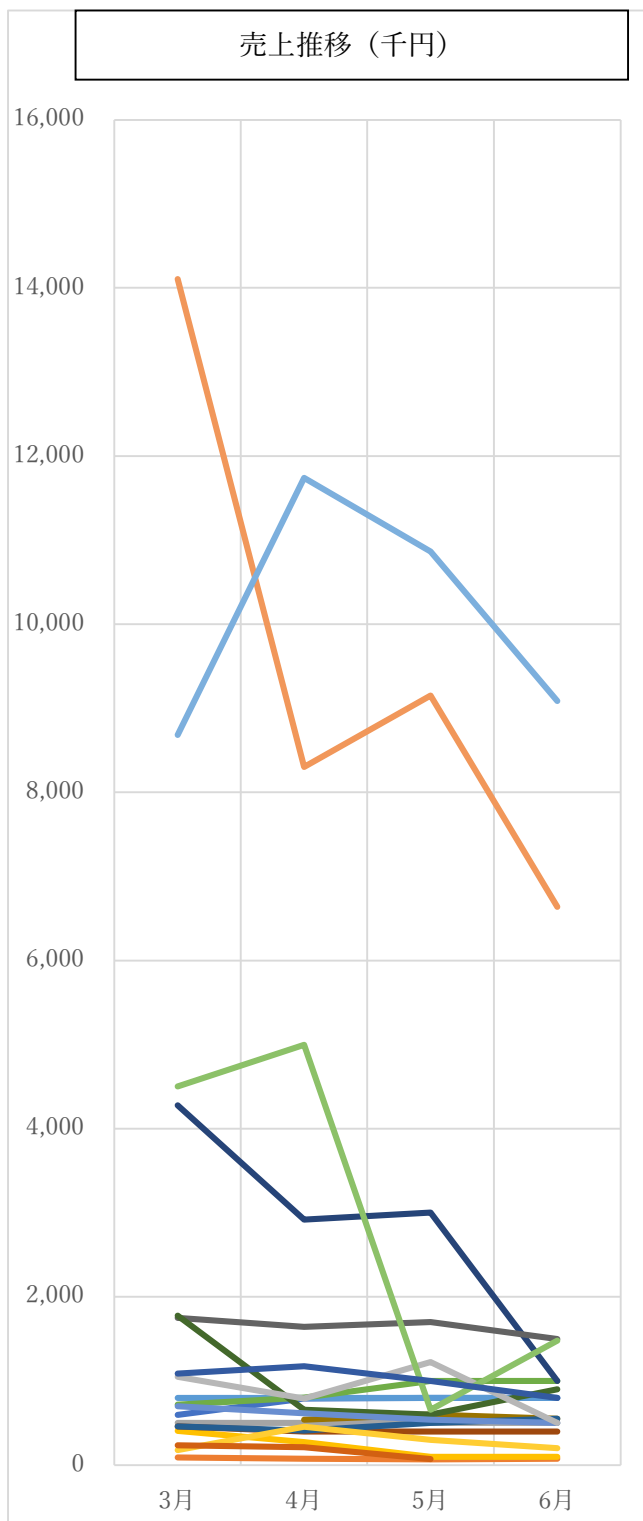
コメント

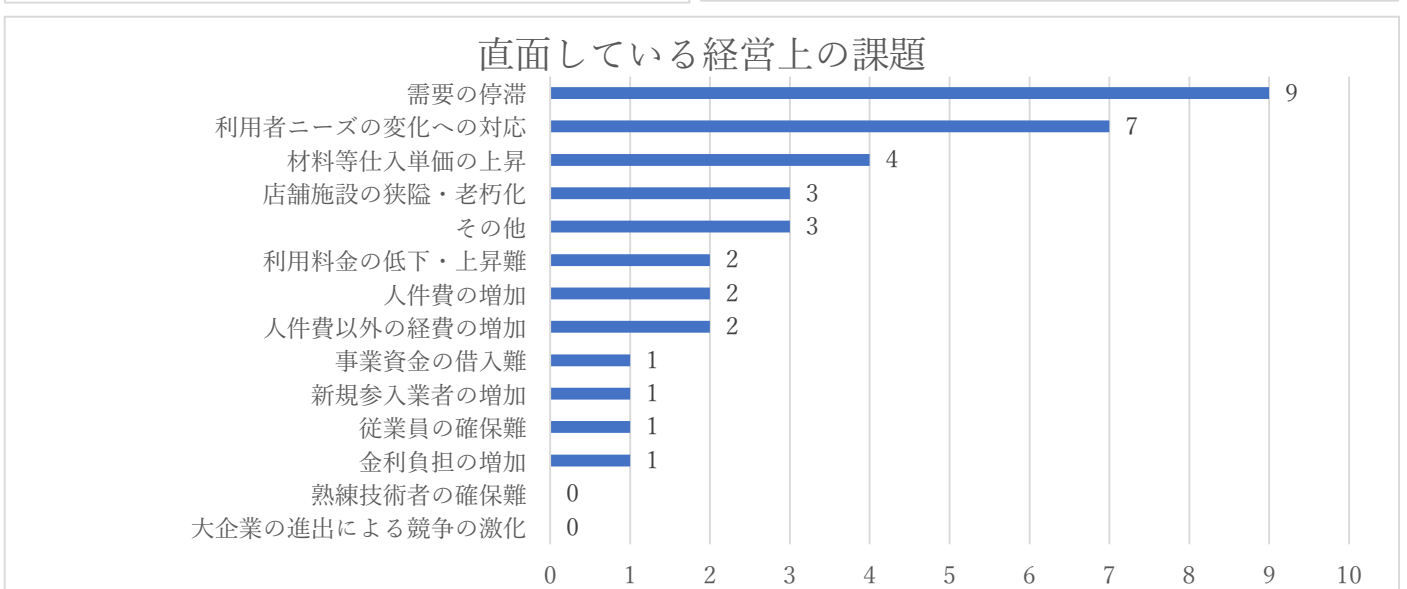
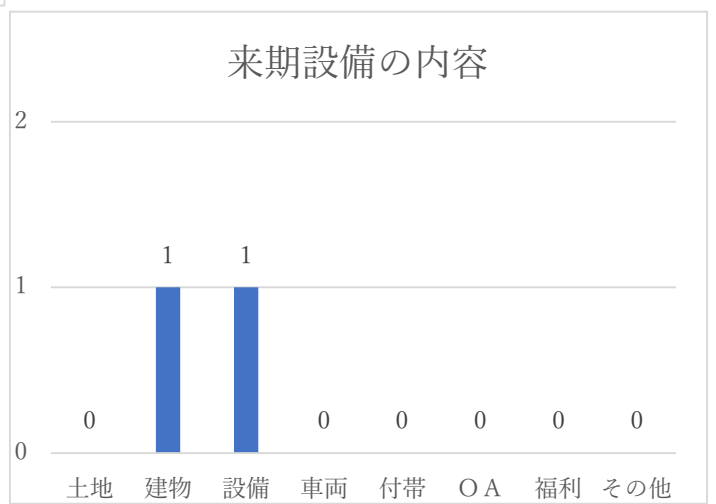
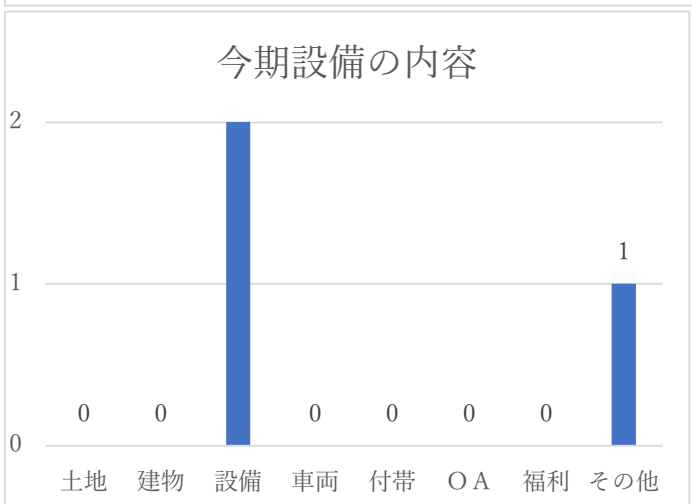
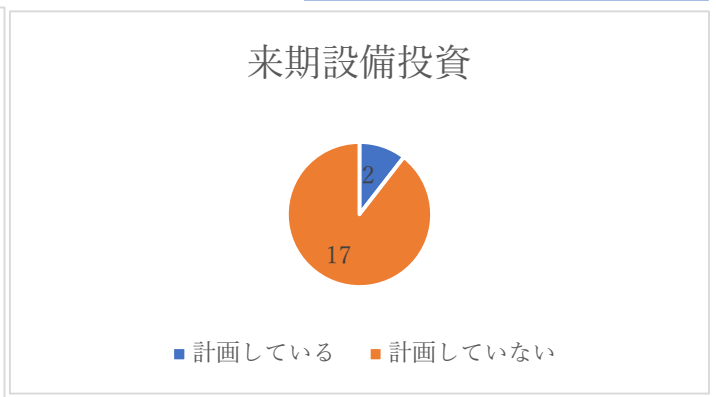
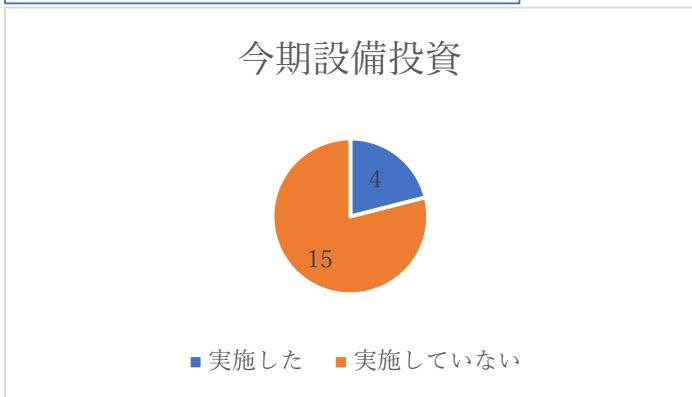
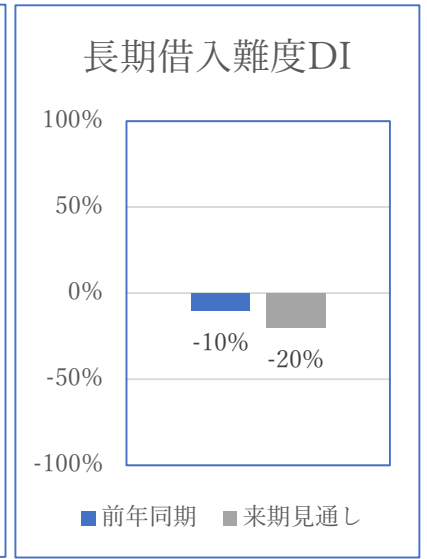
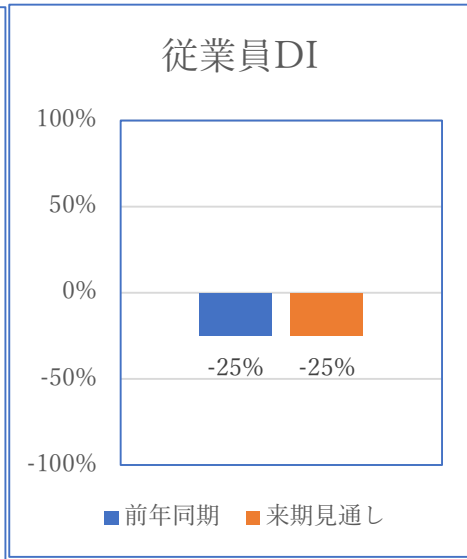
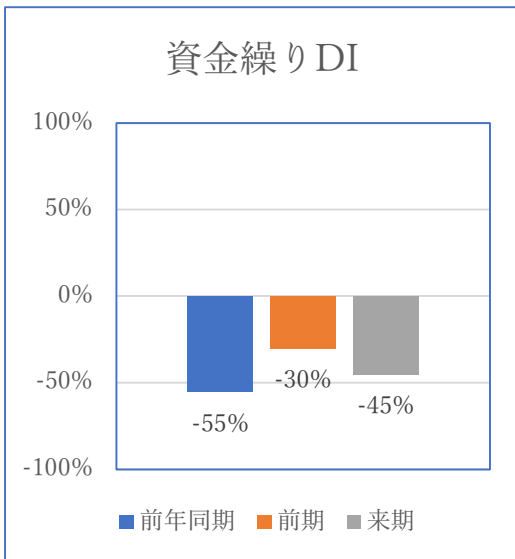
飲食宿泊業の業況に関するDIは、全業種の中で最も厳しい状況が続いており、3度目の緊急事態宣言が発出された状況で、回復の糸口が見えず先行きを懸念する声が多い。

売上DIは前年同期▲25、前期▲35と、第一波の時期や令和3年当初からも落ち込んでいる。来期は▲55とさらに厳しい見通しである。客単価DIも低調で、前年同期▲40から前期▲30と低調であり、今後の見通しも▲30と改善見込みがない。客数DI前年同期▲15、前期▲40、今後の見通しも▲45と厳しい状況である。コロナの影響により集客に改善が見受けられない状況が続いている。

資金繰りDIは前年同期▲55 前期比較▲30 来期▲45と厳しい状況が続き、飲食宿泊業の資金繰りは極めて厳しい。

従業員DIでは、前年同期▲25、来期見通し▲25となっており、雇用減少傾向が続く。設備投資も低調である。個別の声としても事業者の悲鳴が聞こえる。コロナの影響が大きく、都会の報道が地方にも悪い影響がある、需要が完全に停滞しており地元での飲食仕出しはほぼなく今後も回復は難しい、ワクチン接種によりどれほど景気が回復するのか気になる、湖北エリアのお客様はまだ外食を控える意識が低い、昼食についてはまだ影響は少ないと思われる、などの声があった。

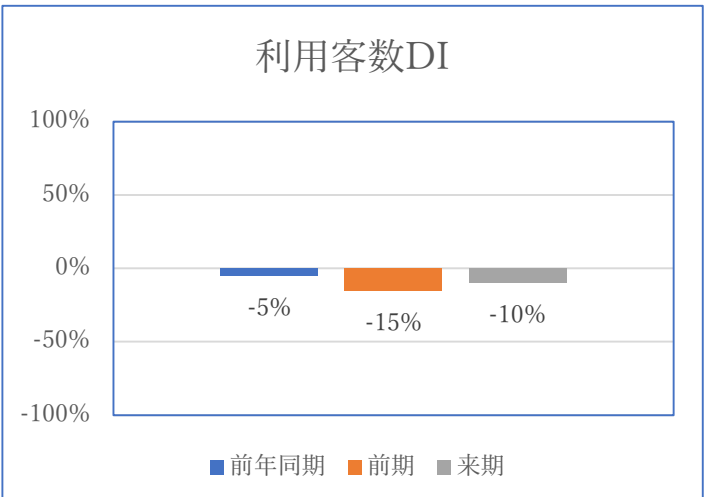
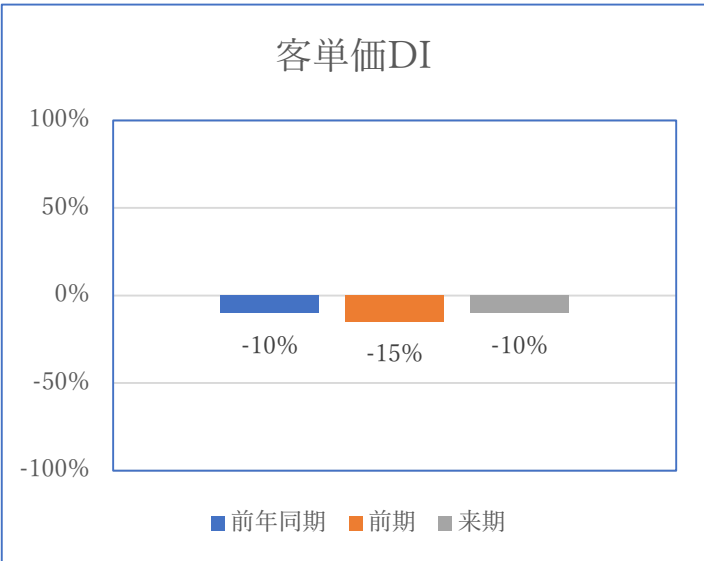
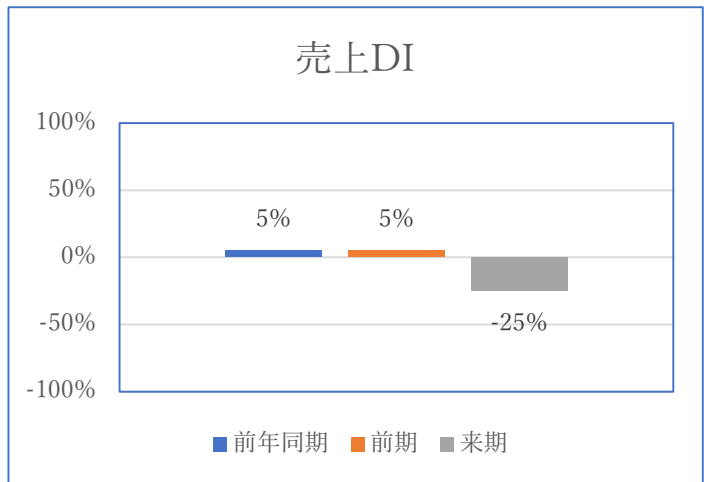
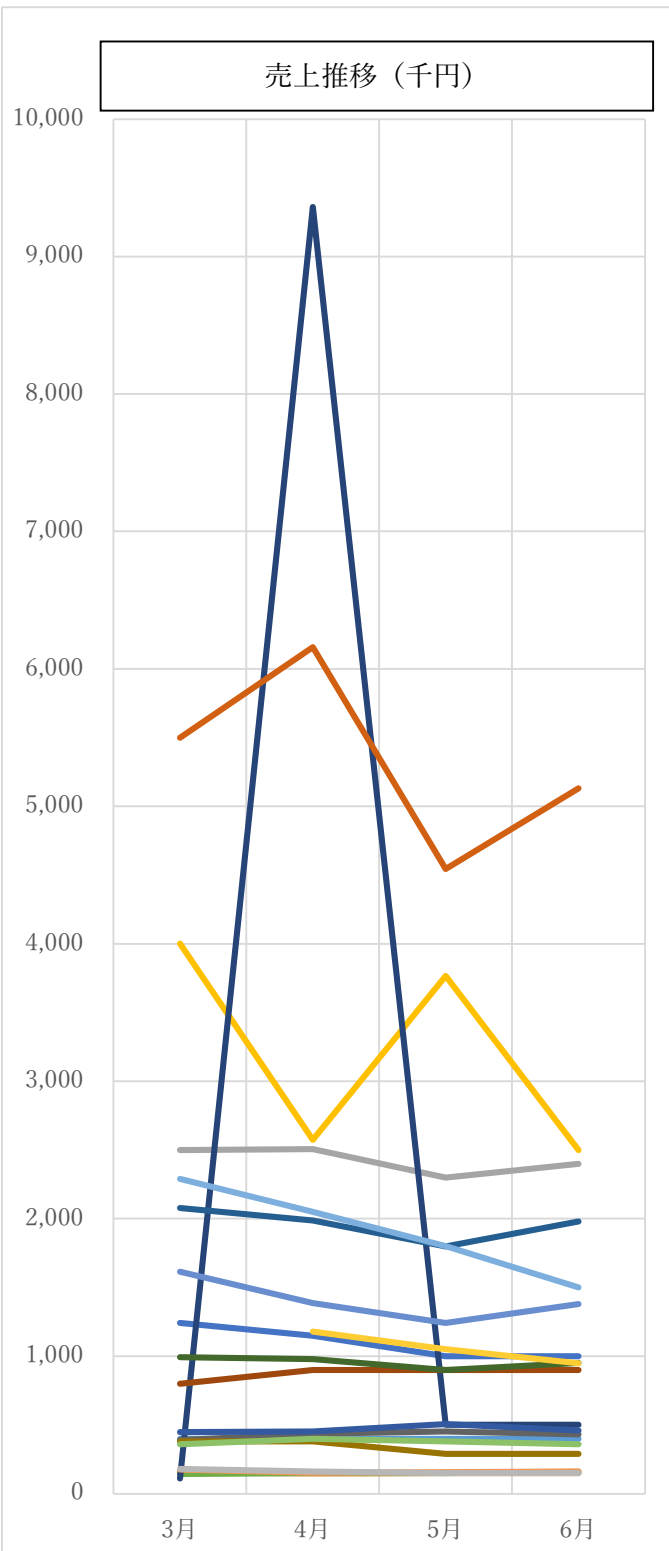




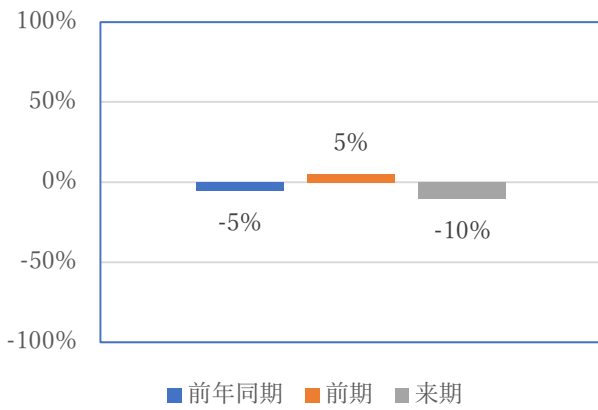
サービス業（2021年4月～6月）DI値抜粋

コメント

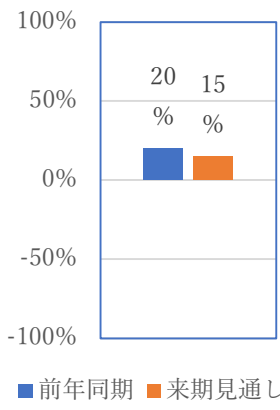
サービス業の業況はコロナの影響が他業種よりは収まっているが、力強い回復は見えない状況である。売上DIは前年同期+5、前期+5と足元でようやく改善の兆しがあったが、来期見込みは▲25と落ち込み回復の兆候が先折れの見込みである。
 客単価DIは、前年同期▲10、前期▲15、今後の見通しも▲10と前回調査時と著変なく低調、客数DI前年同期▲5、前期▲15、今後の見通しも▲10と低調であり、弱含みが続く。
 資金繰りについて前回調査時と比較して小康しており今後の見込み▲10で下げ止まりの傾向である。
 仕入DIについて前期+20、来期見通し+15とコストアップの不安が続いている。借入については一巡しており、難しく感じる企業が増えている。設備投資については今期3件、来期5件と他業種よりは増加の傾向がある。
 個別の声としては、美容業において、冠婚葬祭や成人式の延期による売り上げ損失や、店内での感染症対策など気を使うことが多いとの声がある。



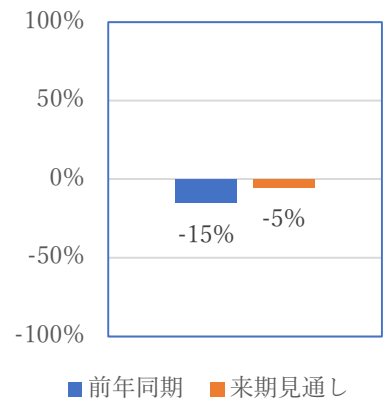
資金繰りDI



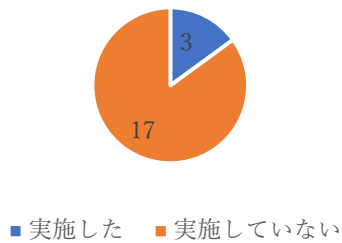
仕入単価DI



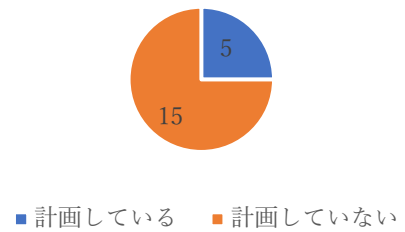
長期借入難度DI



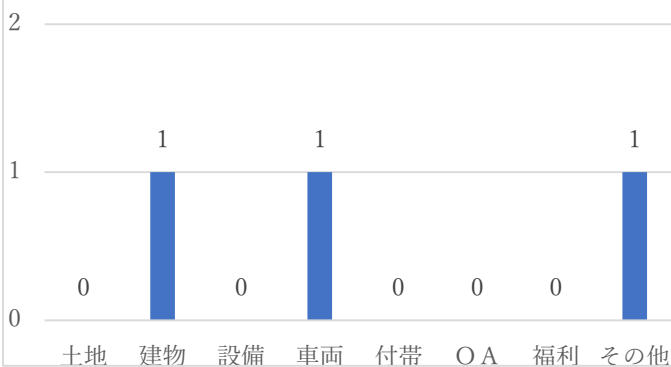
今期設備投資



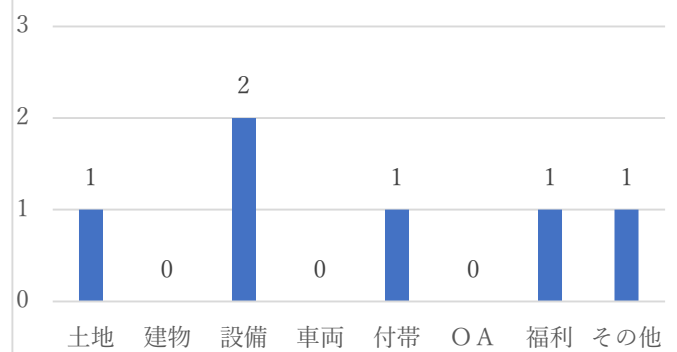
来期設備投資



今期設備の内容



来期設備の内容



直面している経営上の課題

